

『兵庫生物』投稿規定

(1998年5月23日改正)

(1999年5月22日一部改正, 2002年4月6日一部改正,
2012年8月25日一部改正, 2014年8月30日一部改正,
2018年3月31日一部改正)

1. 投稿報文の著者は、会員に限る。ただし共同執筆者には会員以外のものを含むことができる。なお、編集委員会が認めたときは会員以外からの特別寄稿を受けることがある。
2. 投稿内容は、生物に関する総説・論文・短報・報告・資料とする。総説・論文は、1編につき、刷り上がり16ページ以内、短報は1ページ以内とする。これを超過するもの(短報は除く)については、超過ページ印刷代の全額を著者が負担するものとする。
3. A4用紙を使用し、楷書・横書き・新仮名づかい(和名はかたかな、学名はアンダーラインを引き、イタリックに指定)とする。ただし学名を使用する場合は、本文中の最初に出てきた所に命名者名を入れること。ワープロ原稿を推奨するが、手書き原稿も可。ワープロ原稿では1行30文字(欧文文字は半角)、20行ダブルスペースで打ち出すこと。また編集時に必要なため、原則として原稿のコピー3部を同封のこと。原稿が受理されたときは、テキストファイルで保存した原稿および図表の電子ファイル(CD-R, DVD-R, USBメモリ等)を提出すること。
4. 原稿作成の留意点
 - A. 報文の構成は、表題、著者名(*印をほどこして、最下行に脚注し、勤務先または住所を明記する)、本文、引用文献とする。原則として、英文氏名と英文表題、必要ならば英文要旨をつける。
 - B. 表や図は、すぐ製版できるように、墨書き(コピーも可)し、説明は別紙にまとめて書く。図・表は本文とは別にし、本文には入れない。本文中のその表あるいは図を置きたいおよその位置は原稿右欄外に朱記のこと。なお表や図の縮小率は編集委員に任せる。
 - C. 本文中での文献の引用は次の例に従う。3名以上のものについては「ほか」または「et al.」とする。
 - 例1. 本種の検索にあたっては、松原(1955)および明仁親王・目黒(1977)によった。
 - 例2. ……の採集によってわかった(黒田1957, 1960; 湊1976)。
- D. 末尾に、引用文献(または参考文献)を一括してあげ、次の形式をとる。文献の配列順序は第1著者の氏名のアルファベット順とする。第1著者が同一の場合は単独のものを最初におき、そのあとは第2著者の氏名のアルファベット順とする。第2著者も同一の場合は、第3著者以下について上

記に準じて配列する。また、すべての著者が同一のものについては、発表の年代順とする。同一著者かつ同一年のものについては、年号のあとにアルファベットを付して、1972a, 1972b, のように別する。

- E. 文献は下記の形式によって記す。雑誌巻番号は波アンダーラインを引き、ゴシックに指定のこと。雑誌の場合：著者名(姓前名後)、年号、表題、雑誌名、巻：ページ。
単行本の場合：著者名(姓前名後)、年号、表題、ページ数、発行所、発行地。
 - 例1. 内田紘臣. 1977. 紀州産多毛類II, ウロコムシ. その1. 南紀生物, 19 (1) : 6-12.
 - 例2. 沼田 真. 1967. 生態学方法論改稿版. 254pp. 古今書院, 東京.
 - 例3. 三宅貞祥. 1965. 十脚目, 異尾類. *in* 岡田 要ほか編. 新日本動物図鑑, 中, 630 ~ 652. 北隆館, 東京.
 - 例4. SAKAI, T. 1969. Two new genera and twenty-two new species of crabs from Japan. *Proc. Biol. Soc. Wash.*, 82 : 243-280.
 - 例5. MAYR, E. 1963. *Animal Species and Evolution*. 797pp. The Belknap Press of Harvard University Press, Cambridge.
 - 例6. SHAW, J. K. & T. S. HOPKINS. 1977. The distribution of the family Hapalocarcinidae (Decapoda, Brachyura) on the Florida Middle Ground with a description of *Pseudocryptochirus hypostegus*, new species. *in* D. L. TAYLOR (ed.) *Proceedings : Third International Coral Reef Symposium*, 1 : 177-183. Rosenstiel School of Marine and Atmospheric Science, University of Miami, Miami, U.S.A.
5. 図版・写真版については著者に実費負担をお願いすることがある(原図返送希望の際は、投稿の際連絡のこと)。またトレースを外注するときも、著者が実費を負担すること。別刷は50部以上(50部単位)で、必要部数を原稿第1ページに朱記すること。別刷の実費は著者負担とする。
6. 原稿の採否、印刷、校正については、原則として編集委員会に一任のこと。初校は著者校正とする。
7. 掲載論文の著作権は兵庫県生物学会に帰属する。
8. 原稿提出の締め切りは、9月30日とする。それ以降は次年度掲載とする。